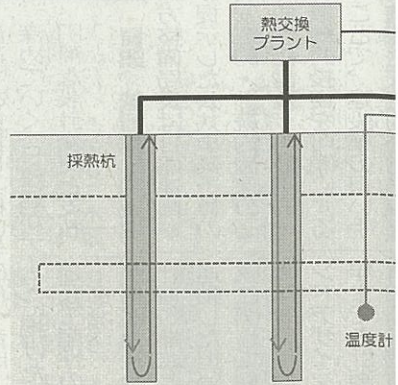




建築設備技術者協会（JABMEE）田辺新一会長は12日、第3回カーボンニュートラル賞を決定。大賞に清水建設の「生長の家」森の中のオフィス、日本初のゼロエネルギービルを選定した。カーボンニュートラル賞は8件、カーボンニュートラル賞支部奨励賞は5件。表彰式は6月24日の15年度総会で行う。

同賞は、09年に建築関連17団体がまとめた「建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050カーボンニュートラル化を目指す」という提言の趣旨に合致した技術やプロジェクトを見出し尽力した関係者を表彰し、地球温暖化に貢献することを目的としている。また今回から選考委員特別賞の代わ



高効率地中

制御システムを活用。常に低い温度の地中熱を取り出すことを可能にしている。また、探熱管も5m間隔で設置する従来と比べて、8〜10m間隔と本数が抑えられ、最大半額程度で施工できる。

一体型（PV）ルーバーは空調負荷低減と創エネルギーを両立するため、建築物の窓面に太陽光発電が可能な特殊シートを貼り付けるルーバー型の外装材として、同社と三菱化学（東京都千代田区、石塚博昭社長、オイレスECO（同品川区、

物に比べて3割程度、空調負荷を抑えられるだけでなく、全閉状態によって日射に伴う室温上昇を防ぐことができる。

「フリーラックフロア」の発売を開始した。同製品を用いることで、ラックの固定や移設を簡単に行うことができる。

ため、ラックの設置が容易になる。 架台取り付け工事が不要になるため、新築時には工期・コストを従来よりも40%削減することが可能。レイアウト変更時には、工期・コストを85%削減できる。4種のレールのパネルを展開しているため、幅広いラックサイズに対応している。

同計画は、既存事業の飛躍と新たな発見に努め、未来に向かって進歩を続けること、効率化と改革に挑戦し続け、環境変化に負けない企業体力

用開口パネルや空調用一目

大賞に日本初ゼロエネルギービル 第3回カーボンニュートラル賞

JABMEE

りに支部奨励賞を作成。同賞は各支部が検証し奨励すること、各支部の特長を出すことを目的に作られた。

大賞の「生長の家」森の中のオフィス、日本初のゼロエネルギービルは、基本的な「エネルギーの元を絶つ」と「再生可能エネルギーをふんだんに取り入れる工夫」に則った形で、日本初のマイナスイネンギービルを達成していることが同賞の好適な事例として評価された。

録は9月上旬、応募は11月上旬を予定している。第3回受賞者は次の通り。

【カーボンニュートラル大賞】「生長の家」森の中のオフィス、日本初のゼロエネルギービル。清水建設

【九州支部】「九電アカデミー」における環境配慮技術の計画と実証評価。日建設計

【北海道支部】「ホテルまほろばESCO事業」池田煖房工業（関東支部）「キャンソンスタワー」における竣工後十年間の環境負荷低減の取組み。大林組（北信越支部）「清水フードセンター」大学前店におけるスーパリーのエネルギー消費特性に配慮した省CO₂事業。三菱工業（中国・四国支部）「中国電力本社ビル」における省CO₂改修。中国電力（九州支部）「西南学院中学校」高等学校の自然エネルギー利用。鹿島

策確施上億益上營基の

【カーボンニュートラル賞】「北海道支部」「さくらインターネット石狩データセンター」外気冷房型「阿波銀行」四国支部「阿波銀行」四国支部「中国電力本社ビル」における省CO₂改修。中国電力（九州支部）「西南学院中学校」高等学校の自然エネルギー利用。鹿島

【近畿支部】「神戸薬科大学80周年記念館」における環境設備計画と実設計。竹中工務店（中部）「阿波銀行」四国支部「中国電力本社ビル」における省CO₂改修。中国電力（九州支部）「西南学院中学校」高等学校の自然エネルギー利用。鹿島

【中部支部】「静岡建設計（中部支部）」「静岡ガス本社ビル」。日建設計（九州支部）「九電アカデミー」における環境配慮技術の計画と実証評価。日建設計

【北海道支部】「ホテルまほろばESCO事業」池田煖房工業（関東支部）「キャンソンスタワー」における竣工後十年間の環境負荷低減の取組み。大林組（北信越支部）「清水フードセンター」大学前店におけるスーパリーのエネルギー消費特性に配慮した省CO₂事業。三菱工業（中国・四国支部）「中国電力本社ビル」における省CO₂改修。中国電力（九州支部）「西南学院中学校」高等学校の自然エネルギー利用。鹿島

【中国電力】「中国電力本社ビル」における省CO₂改修。中国電力（九州支部）「西南学院中学校」高等学校の自然エネルギー利用。鹿島

【中国電力】「中国電力本社ビル」における省CO₂改修。中国電力（九州支部）「西南学院中学校」高等学校の自然エネルギー利用。鹿島

るな量及を減容転に電た効低従析

ターボ機械協会賞を受賞

フランシス水車効率化

関電工ら



関電工、東京電力、早稲田大学、田中水力、平和産業の「小水力向けフランシス水車の低コスト・高効率化に関する開発実証事業」が、ターボ機械協会から協会賞技術賞を受賞した。

同賞は、ターボ機械に関する技術の発展を奨励することを目的としたもの。優秀な論文、技術に贈られる。

同実証事業では、小水力フランシス水車の解